

# 魅力ある学校づくり協議会 (上板橋第二中・向原中) ニュース

第15号

発行日：平成 28 年 1 月 8 日  
開催日：平成 27 年 12 月 17 日  
発行：板橋区教育委員会事務局  
新しい学校づくり課  
学校配置調整担当課長  
電話 3579-2624

第 14 回協議会に引き続き第一部で意見書（案）に関する検討、第二部で新しい学校の設計に関する検討を行いました。協議も大詰めになり、次回（第 16 回）にて協議会は終了予定となっています。

## 第一部

### 魅力ある学校づくり協議会（上板橋第二中・向原中）意見書（案）の検討

意見書とは、魅力ある学校づくり協議会（上板橋第二中・向原中）で検討した内容を最終的にまとめて、正式に教育委員会へ提出するものです。意見書の内容は、「中間のまとめ」（協議会ニュース第 9 号）をベースに、新しい学校の設計に関する「まとめ」を追加した作りとなっております。現在修正作業中で、次回内容が確定した意見書を教育委員会へ提出する予定です。次回の協議会ニュースでは、確定した意見書全文を掲載する予定ですので、ご確認ください。

#### 質疑応答（抜粋）

委員：意見書（案）内には、「主体的・能動的学びの実現のため、教科センター方式を採用します」とありますが、協議会の大多数の意見として、採用することを要望するのでしょうか。

事務局：主体的学びの実現というところに関しては、教科センター方式によって一定の成果が出ていますが、教科センター方式に固執するわけではなく、基本的な考えとして明記します。そして、意見書（案）本文にも「学習方法や生徒数の変化に応じて、柔軟に対応できるような計画になるよう留意すること」と書かれていますが、この部分では教科センター方式から他の教育方式に変わった際、対応できるような校舎づくりをするという意図で明記しています。教科センター方式ありきではなく、柔軟に対応できる意味を含めています。

## 第二部

### 配置・平面計画の検討について

現在の向原中の校地で地形を活かしてどのように校舎を配置できるのか、配置計画を 3 案示し、それぞれの長所短所について協議が行われました。

なお、今回の協議会で示した配置案については、あくまでもイメージであり、実際の設計作業に入る平成 28 年度以降に、生徒の保護者の方や地域の方々にお示ししていきます。

#### 質疑応答（抜粋）（IEE；教育環境研究所）

##### ●配置計画について

委員：3 案のうちの一つに、南側に校舎や体育館を建てるものがありますが、日当たりのことを考えると特に冬は、東側の校庭は太陽が高くあがらないうちに校舎の影に隠れてしまいます。高層階で計画するとグラウンドの 1/3 は全く日が当たらないうちに日が暮れてしまいます。今でも体育館の周りの日影部分は冬の時期に雪が降ると何か月も溶けません。ですので、南側に校舎を建てるのは不便ではないかと思えます。

事務局：南側に校舎を寄せると校舎の落とす影が非常に長い間落ちますので、グラウンドが使えない状況が出てきてしまうのではないかとといったことや周辺の方々からしても、住宅が近接している南側に校舎があるのは課題が多いと認識しています。また、日影の問題だけでなく、給食搬入口の部分の道路が狭く、敷地内に新しく道路を設けなければならず、課題が多い案です。

##### ●地域開放、防災機能をイメージした動線計画や配置計画について

IEE：機能構成別に諸室を分ける設計作業を行いますが、体育館のみを地域へ開放するというのであれば、体育館のそばに、地域開放用の玄関を設けるだけになりますが、図書室や家庭科調理室も開放するという話となると、開放したい諸室等をエリアにまとめる必要があります。

委員：学校で子どもたちが授業をしているエリアと地域開放や避難所として開放するエリアとを分けるということですね。

I E E：今の上板橋第二中は体育館を地域へ開放していますが、開放にあたっては管理諸室で区切られています。地域の方が自主的に使うエリアと、学校が使うエリアを分断してしまうと、使用する物品などが融通しづらくなります。

委員：全ての特別教室を地域開放するという設計もできなくはないと思いますが、難しいことではないかと思います。しかし、一定の特別教室を開放しない限りは避難してきた方を受け入れることはできないと思います。

I E E：発災の規模にもよると思いますが、規模が最大限大きいと、ホームルームも含めた教室を開放していかなければならないかと思います。一方で都中心部では自宅で待機するという地域もあります。そうすると、学校は通勤者や通りがかった人の受入先にもなるかと思います。

事務局：教育委員会事務局の立場としては、例えば学校図書館を開放するにあたっては課題が多いと考えております。地域へ開放すればするほど、外から人が入りやすくなるので学校の管理、防犯上の観点から考えると、相反する条件になってきます。ですので、できれば体育館であれば体育館で、その開放区角をしっかりとることが重要という視点もご認識いただければと思います。そして、開放できるエリアにいかに関係と連携するスペースをとるかといったことになるかと思います。主に学校施設を使うのは生徒ですから、生徒を中心に考え、生徒の安全を考えた上でどういう風に開放していくか考えて頂ければと思います。

委員：板橋区立の小中学校で、図書館開放している学校はありますか。

会長：ありません。地方で近隣に公共図書館がない学校では地域開放しているところもありますが、板橋区では11館図書館がありますので（大谷口地区には小茂根図書館があります）、地域の方はそちらを使って頂くこととなります。また、学校図書館は生徒の教育活動を中心としたものになりますので、一般の方がご覧になる図書館とは性質が異なってくるかと思います。また、家庭科室や音楽室の開放についてですが、まず、音楽室については、楽器がたくさんありますので、開放すると一般の方が自由に出入りして鍵管理等に無理があると思います。家庭科室は音楽室に比べると可能性となるかと思いますが、衛生管理の問題ですとか、刃物など、危険なものもありますので、地域開放にはなじまないかと思います。しかし、家庭科室は発災時に地域の炊き出しの拠点としてなるのであれば、一緒に避難所として計画しておいた方が万が一の際に使えるのではないかと思います。

### ●教科センター方式を採用した配置計画について

委員：教科センター方式を基本としつつも、生徒数が増えた時には柔軟な対応をするとのことですが、「オープンスペース・教科センター方式検証報告書」を拝見した際に、赤塚第二中の先生方へのヒアリングの中で、規模が大きい学校での運営は難しいといったものを拝見しました。人数が大規模化するとどのような点で運営が難しくなるのでしょうか。

事務局：教科センター方式は、生徒が教科の教室へ足を運び、主体的な学習を身につけるという教育方式となっています。運営していくにあたっては、廊下の幅や階段の幅が重要となってきます。例えば、40人クラス、1学年6学級の学校では全校で700人近くが移動するとどうなるのか、といったことがあります。また、都心の学校では多層階になっています。全部で6階建てなどの学校もありますので、そういった学校で700人余りが3、4階分の移動となると現実的ではないかと思います。今回の新しい学校の設計にあたっては、メインで動く階層は3から4階の移動になりますのと、生徒数予測としては増えても18学級程度となっていますので、運営上はボーダー（ギリギリ）のクラス編成になるかと思います。赤塚第二中は1学年5学級で運営していますが3学級増えても運営が可能ではないかと考えておりますので、今回の新しい上板橋第二中でも可能であるといった見方をしております。

### 板橋第十小学校説明会を開催しました

平成27年12月19日（土）午後3時30分から、板橋第十小保護者を対象に板橋第十小学校改築計画及び上板橋第二中学校・向原中学校の統合に関する説明会を開催しました。15名の方にご参加いただき、統合に関しては、卒業時の校名はどうなるのか、通学区域は変わるのかといったご質問をいただきました。質問を頂いた事項も含め、現在策定中である意見書（案）に基づいて教育委員会事務局が責任をもって進めていくことを説明しました。

## これまでの協議会の振り返り

平成 26 年 7 月から始まった協議会は次回（第 16 回）で終了となります。1 年 6 カ月に渡りました協議会を振り返ります。

### ◆第 1 回協議会（準備協議会合）（平成 26 年 7 月 22 日）

- ・会の名称、会則、会長、運営についての協議及び決定
- ・魅力ある学校づくりプラン概要の説明

### ◆第 2 回協議会（平成 26 年 9 月 4 日）

- ・入学予定校変更希望制及び区域外就学の状況
- ・小中一貫教育及びコミュニティスクールについて
- ・平成 19 年度に予測した児童・生徒数・学級数と実数との比較
- ・生徒数予測（H26～H38）及び 2 校合算シミュレーション
- ・上板橋第二中・向原中・桜川中の生徒の通学状況
- ・2 校の学校沿革、生徒数推移（H17～H26）、通学区域内人口、通学区域内生徒の入学先、周辺状況（大規模集合住宅建築状況等）
- ・2 校の現状（人口・生徒数推計、通学状況等）
- ・2 校の学校敷地等の状況について（赤塚第二中・板橋第三中の例示含む）

### ◆第 3 回協議会（平成 26 年 10 月 14 日）

- ・桜川中及び板橋第二中の通学区域変更生徒数シミュレーション（H26～H38）
- ・上板橋第二中・向原中・桜川中・板橋第二中の通学状況
- ・区域外就学の理由・公共施設の複合化
- ・上板橋第二中、向原中の建築条件等の比較
- ・平成 27 年度新入学者保護者説明会（H26.9.20 実施）において協議状況について説明した旨の報告
- ・上板橋第二中及び向原中の校地の比較（運動場の面積・教室配置・日影規制の影響・建築可能階数等について）1 回目

### ◆第 4 回協議会（平成 26 年 11 月 10 日）

- ・木造住宅密集地域（大谷ロー丁目）の建替え及びコーシャハイム向原（向原 3-7）建設に伴う生徒数への影響
- ・入学予定校変更希望制における変更理由
- ・区域外就学者数とその理由
- ・埋蔵文化財推定地域
- ・上板橋第二中及び向原中の校地の比較（運動場の面積・教室配置・日影規制の影響・建築可能階数等について）2 回目
- ・新校舎建築に関する工事期間及び統合スケジュール
- ・過去に行われてきた統合方式の例示
- ・平成 27 年度以降の向原中の生徒数シミュレーション
- ・学校規模によるメリット・デメリット（文部科学省資料）

### ◆第 5 回協議会（平成 26 年 12 月 9 日）

- ・改築スケジュール、統合方式と校名の関係
- ・学級数による教職員数と配置
- ・これまでの協議内容を踏まえた各委員からの意見聴取（統合方式・校地・校名含む）

### ◆第 6 回協議会（平成 27 年 1 月 29 日）

- ・前回の協議会での統合方式、校地、校名についての意見聴取内容の整理
- ・小中一貫教育の検討
- ・校舎一体型小中一貫校の設置シミュレーション
- ・魅力ある学校像
- ・前回の協議会での意見聴取を踏まえた統合に関する事務局案（A・B・C 案）の提示と意見交換（1 回目）※ 2 校の P T A が行った生徒・保護者アンケートを参考配付

◆第7回協議会（平成27年2月27日）

- ・東京の液状化予測と向原中の地盤
- ・現在の学校跡地の利用状況
- ・小中一貫教育の検討 ・統合に関する事務局案についての意見交換（2回目）

◆第8回協議会（平成27年3月23日）

- ・これまでの協議についての総括
- ・統合に関する事務局案についての意見交換（3回目）

◆第9回協議会（平成27年4月17日）

- ・「魅力ある学校づくり協議会（上板橋第二中・向原中）」中間のまとめ（案）」の提示と確認
- ・施設見学会の開催について ・上板橋第二小児童保護者説明会の報告
- ・この地域の地名について ・学校への人的支援等について
- ・コンクリート圧縮強度試験結果 ・向原中の地質調査について

◆学校施設見学会

平成25年度に改築された「赤塚第二中学校」「板橋第一小学校」を見学（参加者数計19人）

◆第10回協議会（平成27年6月18日）

- ・大谷口小、向原小児童保護者等説明会の報告
- ・学校改築に係る小・中学校各学年のスケジュール表の提示
- ・過去の学校適正配置の状況 ・今後の協議会スケジュール及び検討事項
- ・スクールソーシャルワーカーについての説明 ・板橋区改築三校調整会議報告書
- ・新校の基本構想・設計について ・新校建築後の校庭トラック規模（想定配置図）

第11回協議会からは第一部で統合に関する協議、第二部で新しい学校の設計に関する協議を開始

◆第11回協議会（平成27年7月28日）

- 【第一部】・統合に関する検討事項と検討時期の振り分け（案）・2校の生徒数統合シミュレーション
- 【第二部】・施設見学会後の意見交換・設計に関する全体スケジュールの提示

◆第12回協議会（平成27年9月8日）

- 【第一部】・両校生徒数推移・学校建築に伴う予算執行の流れの説明  
・板橋第三中ヒアリング報告及び改築前後の光熱水費比較
- 【第二部】・施設見学会感想、意見等の聴取  
・基本構想・計画段階における主要検討事項と他校の事例提示

◆第13回協議会（平成27年10月14日）

- 【第一部】・オープンスペース方式・教科センター方式検証報告
- 【第二部】・新しい学習指導要領が目指す姿について ・新校の計画規模の算定  
・新校に関するアンケート集計（単純集計）・両校の保有施設の特徴と運営上の課題

◆第14回協議会（平成27年11月16日）

- 【第一部】・跡地活用の事例紹介、意見交換 ・意見書（案）について（1回目）
- 【第二部】・校舎建設に関するアンケートのまとめ（分析）  
・ゾーニング（機能別構成図）の提示 ・配置計画（模型提示）

◆第15回協議会（平成27年12月17日）

- 【第一部】・意見書（案）について（2回目）
- 【第二部】・配置計画と平面計画について

**次回（最終回）予定 協議内容**

平成28年2月9日（火）午後6時30分～

開催場所 上板橋第二中学校 ランチルーム 協議内容 意見書の提出について  
協議会は原則傍聴できます。詳しくは下記までお問い合わせください。

発行元 板橋区教育委員会事務局 新しい学校づくり課 学校配置調整第一グループ

電話 3579-2624 FAX 3579-4214

※魅力ある学校づくり協議会（上板橋第二中・向原中）ニュースは区ホームページからご覧いただけます。[http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c\\_kurashi/063/063153.html](http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/063/063153.html)